33　ヨハネ 10 章 31-42 節

1、「内容観察」この個所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

2、イエス様はいくつかの言葉をもって、ご自分が神のキリストであることを示されました。
　どの言葉が「メシヤ宣言」だと言えるでしょうか。
　（25）
　　マタイ 11:2-6、イザヤ 35:3-6
　（28）

　（30）

3、ユダヤ人たちはそんなイエス様をどうしようとしましたか？（31）
　・彼らの言い分は何でしたか？「そうしようとする動機」（33）

　※結局のところ、このようなすれ違いの元になっているもの「原因」は何だと思いますか？
　みんなで意見を出し合ってみましょう。

　※私たちは、イエス様の救いにあずかり、罪赦され、神の子どもとされ、永遠のいのちをいただくことによってそれらのすれ違い、ヅレ、を修復していただいたものです。自分自身の意識と信仰にはずれはないでしょうか？〈祈りの時を持ちましょう〉

4、イエス様は「自分を神としている」と言われて、どんな返答をしましたか？（34-36）

　・引用された箇所を読んでみましょう（詩篇 82:6）
　※あなたはこの詩篇 82 篇をどのように読んでおられましたか？（どう理解していましたか？）
　イエス様の説明によると「神の言葉を受けた人々」のことと説明されています。人々を指導し、導く立場にある人々のことをそう呼んでいたそうです。

5、（40-42）こういう現象が「リバイバル」というものです。このようなことが今も起こされるように心を合わせて祈り求めましょう。

6、今日の箇所を通して、神様はどのようなお方でしょう。またどんな約束、模範がある?またどんな注意、戒めがある?